

大分教育事務所訪問②-34 (計 107)

津久見市立第一中学校に学ぶ2

学校経営から学ぶ

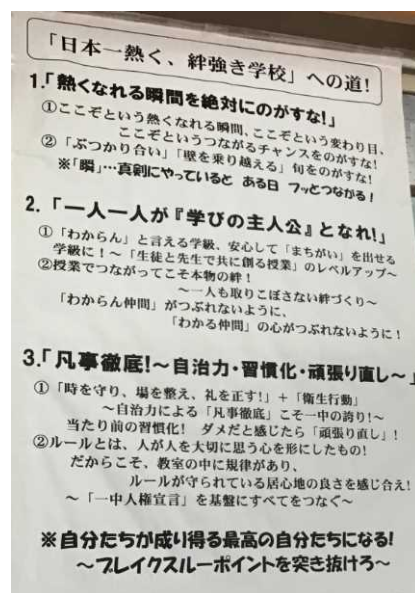
本校では、学校として育成を目指す(教科横断的な)資質・能力を、キャリア教育における基礎的・汎用的能力をもとに、志力(キャリアプランニング能力)、自律力(自己管理能力)、絆力(人間関係形成力)、実践力(課題対応能力)と定め、これらの力を教職員だけでなく生徒自身も意識をしながら日々の授業等に活かしています。さらに、資質・能力の3本柱を目指した、「学びの『基礎力』」、学びの『活用力』、「ふるさとを基盤とした志力と絆力」のそれぞれについても、各推進部を中心に進行管理を行いながら改善を行っています。

今後は、特に重要と思われる「絆力」とは具体的にどのような力で、どのような姿になれば良いのかを、全職員で協議をすることを通して共通理解をすすめてはいかがでしょうか。そのことで、具体的な取組は担当者や生徒会にも任せることができ、それぞれの当事者意識が高まると思えました。また、班づくり、学級づくりについての具体的な取組を4点セットの取組指標に定めることで、学校の教育目標である「絆強き学校」の具現化が図られることを期待します。

授業から学ぶ

参観したどの授業においても、一人も取りこぼさない活動が行われ、教師の指示よりも生徒の声や活動する場を多く見ることができました。これは学級経営の成果であり、班活動やジグソー法が目的のある学び合いとなっていました。

今後は、指導案の「振り返り」においては、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」にしてより具体的に表現してみたいかがてでしょうか(教科によっては複数)。そして、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と生徒が実際に書いたものとの違いから学んだり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議したりすることで、授業改善がより推進されると思えました。



NO.479 2021年11月 津久見市立第一中学校

学ぶ教師

担任の先生は空き時間に、教室で生徒と共に学んでいる。多面的に生徒を知ろうとしている。



NO.480 2021年11月 津久見市立第一中学校

短時間だから

時間が限られているから集中できる。自分の力の限界に挑戦できる。



NO.481 2021年11月 津久見市立第一中学校

手を添える

言葉や映像だけではわからない。理屈ではなく経験を重ねることで、できるようになる。



NO.478 2021年11月 津久見市立第一中学校

さりげなく

友達の机をそろえのは、相手への優しさから。だから、温かい学び合いができる。